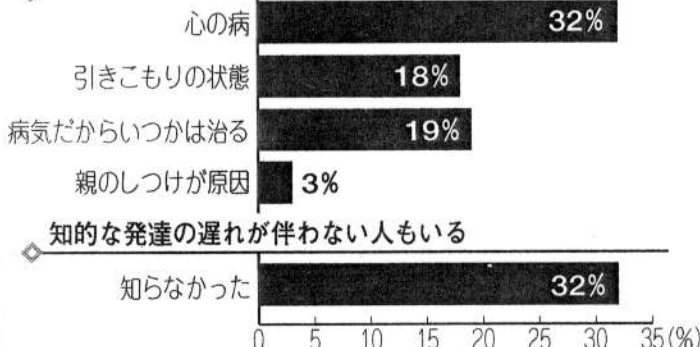


2007年(平成19年)3月6日(火曜日)

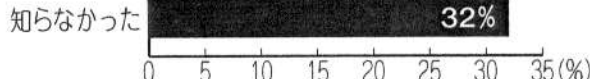
■ 自閉症に関するアンケート調査の結果 ■

日本自閉症協会道南分会

自閉症とは〇〇と思っていた



知的な発達の遅れが伴わない人もいる



※「心の病だ」から「親のしつけが原因」までの回答はいずれも誤り
※普段自閉症者とほとんど接触がない約150人の回答

自閉症 認識不足目立つ

函館市民ら 対象に調査 接触ない人7割誤解

日本自閉症協会北海道支部道南分会(伍楼礼子会長)は、函館市民らを対象に自閉症に対する認知・理解度を調査するアンケートを実施し、結果をまとめた。「自閉症は生まれつきの脳の機能障害であり、病気や引きこもりではない」という正しい回答は、普段自閉症者とほとんど接触がない人に限った場合、34%にとどまった。地域の三人に二人は何らかの誤解をしており、自閉症への理解が進んでいないことが浮き彫りになった。

(成田智加)

公共広告機構(A.C.C.)「症協会の活動を取り上げが昨年七月から今年六月に、公共福祉関連の非営利団体の活動を支援する広告キャンペーンを展開し、その一つに日本自閉

企業の従業員ら十八十のうちの約千人が回答。このうち、仕事やボランティアで自閉症者やほとんどかわりがない人は約百五十人だった。アンケートはチェック

「引きこもりの状態だ」に二十七人(18%)、「病気がだからいつかは治る」には二千九人(19%)がチェックした。また、自閉症には知的な発達の遅れを伴う人と、伴わない人(アスペルガー症候群など)がいることを知らなかった人は四十九人(32%)だった。

同分会の松倉順子副会長は「自閉症は目に見えない障害。地域の支援があれば、自閉症の人も日常生活がしやすくなる。市民に正しい知識を持ってもらうため、地道に啓発活動を行わなければ」と話している。



「引きこもりの状態だ」に二十七人(18%)、「病気がだからいつかは治る」には二千九人(19%)がチェックした。また、自閉症には知的な発達の遅れを伴う人と、伴わない人(アスペルガー症候群など)がいることを知らなかった人は四十九人(32%)だった。

アンケート結果は同分会のホームページ(H.P.)でも公開している。アドレスはhttp://www.geocities.jp/dounanbu_hkai2004/ACkoukoku.pdf